栃木県誕生150年 NHK宇都宮放送局開局80年 記念

第136回企画展

花と虫

～助けあい、せめぎあう植物と昆虫～

令和5年7月15日(土)～9月24日(日)

主催　栃木県立博物館　　共催　NHK宇都宮放送局

■開館時間　9:30～17:00（入館は16:30まで）
■休 館 日　毎週月曜日(祝日を除く)、7/18(火)、9/19(火)

	一般	高・大生	中学生以下
観覧料（円）	260（200）	120（100）	無料

※(　)内は20名以上の団体料金、またはM割料金
※M割(ミュージアム割引)について
栃木県博物館協会M割参加館の通常料金の入館券を持って、入館日から6か月以内に入館すると、割引を受けられます。
他の割引との併用はできません。

Tochigi Prefectural Museum
栃木県立博物館
〒320-0865　栃木県宇都宮市睦町2-2
TEL:028-634-1311(代)　FAX:028-634-1310

第136回企画展　花と虫　～助けあい、せめぎあう植物と昆虫～

虫が花の蜜を吸いにやってくる。蜜を吸うとき、虫の体には花粉がつく。花粉は虫によって運ばれ、別の花のめしべにつく・・・。このように、植物と昆虫には、花は蜜を昆虫に与え、虫は花粉を運ぶ、といった助けあいの関係があります。イチゴやトマトなどの農作物の栽培には、そのような植物と昆虫との助けあいの仕組みが利用されています。

一方、植物と昆虫には、食う・食われるの関係もあります。葉や枝を食べる昆虫に対して、植物は身を守るために毛やトゲ、毒を持つなど、昆虫に対抗する仕組みを発達させています。

また、植物は昆虫の隠れ家や、オスとメスとの出会いの場としても利用されています。

この展示を通じて、植物と昆虫とのつながりを知り、生き物とのつきあい方や、生き物がくらす環境の保全について考えていただけたら幸いです。

第１章　植物と昆虫の助けあい

チョウやハナバチ、ハナアブなどの昆虫は、蜜を求めて花に集まります。

蜜は昆虫にとって大切な栄養源。花は蜜を提供する代わりに、集まった昆虫に花粉を運んでもらいます。

その結果、花は実をつけ、できた種から仲間をふやすことができるのです。

植物と昆虫は、互いになくてはならない関係を持っているのです。

トリカブトの蜜を食べて、花粉を運ぶナガマルハナバチ

タンポポの蜜を食べて、花粉を運ぶキアゲハ

ハルジオンの蜜や花粉を食べて、花粉を運ぶコアオハナムグリ

ミゾソバの蜜を食べて、花粉を運ぶオオハナアブ

ウラジロカンコノキの蜜を食べて、花粉を運ぶウラジロカンコノキハナホソガ(⟹)

第２章　植物と昆虫のせめぎあい

植物は、昆虫に一方的に食べられるだけ、と思われがち。でも、植物も負けていません！　食べられないよう、毛やトゲ、毒を持ち、身を守っています。しかし、中にはその植物の抵抗をも乗り越え、毛ごと食べたり、毒を克服した昆虫もいます。そして、時には植物が昆虫を食べることも。

植物と昆虫は、互いにせめぎあいながら暮らしてもいるのです。

毒のあるバイケイソウの葉を食べる、ツチハンミョウの仲間

植物の逆襲!?　モウセンゴケが葉の粘液でバッタの幼虫をとらえて食べる

第３章　虫の居場所としての植物

植物は昆虫にとって大切な生活空間。すみか、オスとメスの出会いの場、巣の材料を得る場、狩り場など、利用の仕方はさまざまです。

展示を見れば、虫がなぜそこにいるのか、答えが見つかるかも!?

リョウブの葉の上で求愛するアオマツムシ(左：オス　右：メス)

ノリウツギの葉の上で、とらえたニホンミツバチの体液を吸うシオヤアブ

■関連行事

●展示解説
7/29（土）、8/27（日）　※２日間とも14:00～15:00

●観察会
8/6（日）10:00～15:00「高原の花と虫の観察会」
戦場ヶ原～小田代原　※要予約

●学芸員とっておき講座
8/20（日）13:30～15:00「助けあい、せめぎあう植物と昆虫」(講堂)

★同時開催展示
テーマ展「草・木・虫をめぐる栃木の民俗」
7/15（土）～9/24（日）

★同時開催講演会
「栃木の山と自然を語る～NHK山岳カメラマンとともに～」
8/11(金・祝)　10:30～12:00（講堂）　※要予約

お問合わせ／お申込み先

・栃木県立博物館　教育広報課
☎０２８－６３４－１３１２
・栃木県立博物館ウェブサイト
http://www.muse.pref.tochigi.lg.jp/

栃木県博

アクセス

JR宇都宮駅(西口)または東武宇都宮駅から
・「桜通り経由鶴田駅」または「桜通り経由西川田駅」行で「中央公園博物館前」下車(徒歩8分)
・「長坂経由新鹿沼」行で「文星芸術大学附属中高」下車(徒歩8分)

※開催期間中は駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。